

# 全国の「信頼できる在宅医」リスト150⑤

都道府県	医師名	病院	住所	電話番号	自宅での 死亡者数	自宅 看取り率
兵庫県	梁勝則	はやしまクリニック希望の家	兵庫県神戸市須磨区妙法寺敷中1242	078-747-5335	44	44%
	長尾和宏	長尾クリニック	兵庫県尼崎市昭和通7-242	06-6412-9090	72	76%
	櫻井隆	さくらいクリニック	兵庫県尼崎市武庫元町1-25-14	06-6431-5555	12	55%
	西村正二	西村医院	兵庫県加古川市野口町水足1852	079-422-1130	105	66%
	今井信行	いまい内科クリニック	兵庫県宝塚市中州2-1-28	0797-76-5177	10	63%
奈良県	森井正智	ホームホスピスひばりクリニック	奈良県奈良市三碓6-9-23	0742-49-8700	152	81%
和歌山県	坂口健太郎	坂口内科	和歌山県紀の川市貴志川町井ノ口577-1	0736-64-7801	74	83%
	安川修	安川診療所	和歌山県岩出市西国分688-1	0736-63-1688	33	72%
鳥取県	徳永進	野の花診療所	鳥取県鳥取市行徳3-431	0857-36-0087	73	79%
島根県	藤原悠子	大曲診療所	島根県出雲市大津町1941	0853-21-1186	12	50%
岡山県	松尾圭祐	まつお内科クリニック	岡山県岡山市北区上中野1-16-17	086-246-2323	18	46%
	中村幸伸	つばさクリニック	岡山県倉敷市大島534-1	086-424-0283	99	46%
広島県	小西太	広島在宅クリニック	広島県広島市中区千田町2-2-19	082-546-0143	28	67%
	大宇根晃雅	大宇根内科呼吸器科クリニック	広島県呉市古新開1-1-31	0823-76-2202	49	83%
山口県	末永和之	すえなが内科在宅診療所	山口県山口市鱈石町1-12	083-902-5300	55	62%
徳島県	吉田大介	徳島往診クリニック	徳島県徳島市八万町新貝56-28	088-668-7318	16	48%
香川県	三宅敬二郎	敬二郎クリニック	香川県高松市松福町1083-17	087-864-3109	-	-%
愛媛県	永井康博	たんぼぼクリニック	愛媛県松山市別府町444-1	089-911-6333	47	46%
高知県	松本務	あおぞら診療所高知潮江	高知県高知市北竹島町5-10	088-831-7670	31	65%
	二ノ坂保喜	にのさかクリニック	福岡県福岡市早良区野芥4-19-34	092-872-1136	51	53%
福岡県	山口浩二	山口内科	福岡県福岡市早良区西新5-14-45	092-821-2448	2	17%
	伊藤大樹	あおぼクリニック	福岡県福岡市東区青葉3-1-6	092-663-2037	17	41%
佐賀県	満岡聡	満岡内科消化器科医院	佐賀県佐賀市大和町大字尼寺848-11	0952-51-2922	10	100%
長崎県	白髭豊	白髭内科医院	長崎県長崎市片淵1-13-28	095-822-5620	3	27%
	安中正和	安中外科・脳神経外科医院	長崎県長崎市丸山町2-6	095-823-4813	27	64%
大分県	山岡憲夫	やまおか在宅クリニック	大分県大分市東大道3-62-5	097-545-8008	119	65%
熊本県	田島和周	田島医院	熊本県熊本市西区田崎3-1-25	096-352-2433	3	60%
宮崎県	外山博一	外山内科神経内科医院	宮崎県宮崎市吉村町境目甲1529-1	0985-28-1388	4	36%
鹿児島県	中野一司	ナカノ在宅医療クリニック	鹿児島県鹿児島市伊敷台6-27-10	099-218-3300	44	79%
沖縄県	森川恵吾	ドクターコン診療所	沖縄県宮古島市上野字宮国746-17	0980-76-2788	28	67%

# 全国の「

都道府県	医師名
石川県	黒瀬亮太
福井県	紅谷浩之
山梨県	土地邦彦
	山田薫
長野県	篠崎史典
	宮坂圭一
岐阜県	市橋亮一
静岡県	石垣泰典
	福岡明久
	杉本由佳
	佐竹重彦
	小笠原正
愛知県	亀井克典
	井上雅樹
	小松原和
	大石明憲
三重県	遠藤太久
滋賀県	花戸貴司
	渡辺剛
京都府	渡辺康介
	具志堅保
	白山宏人
	中村俊紀
	大坪正敏
大阪府	出水明
	松永美佳
	田村学
	辻宏明
兵庫県	関本雅子
	森本有里

サ高住（サービス付き高齢者向け住宅）専門で在宅医療を行う医師もいるという。そうした医師は地域の医師会にすら所属していない。国が在宅医療を推し進めていることもあって、診療報酬を狙った質の悪い在宅医も次々と生まれているのだ。

前出の井尾氏は、在宅の看取りには三つの覚悟が必要だと言う。

「『家で死にたい』という本人の覚悟、そして『家で看取りたい』という家族の覚悟、さらに『家で最後まで支える』という医者、医療者の覚悟」です。最終的に死亡確認をする医者が、そこを支えてくれないければ在宅医療は成立しません。家族、本人の覚悟よりも医療者の覚悟のほうが重要なのです」

ここで紹介した医師150人は、間違いなくそのような覚悟を持った医師たちだ。人生の最期を預ける相手を探すのに、きっと役立つだろう。

医療の企業化はすべてが悪いわけではありませんが、質が担保されないケースが見受けられます」

効率的に儲けるために、